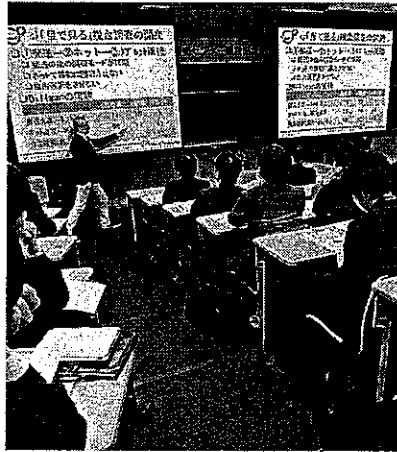


大学

埼玉大社会調査研究センター



「社会・世論調査の効用」をテーマに開かれたシンポジウム



埼玉大社会調査研究センター

知の明日を築く

世論調査回収率を改善

が、社会調査を面接方式で実施する場合、個人情報保護の恐れなどで回収率の低迷が深刻な課題になっている。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。

調査を実施的に実施。さらに11年から毎年独自に実施するさいたま市民対象の政治意識調査を通じて、郵送法の方が回収率が高まり「他人を意識せ

松本がとりわけ着目したのは、接触が年々難しくなっている若者の回収率。20歳代の回収率は前回調査(約42%)を20%程度上回った。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。

学ぶ 磨く 育てる

個人のプライバシー意識の高まりで、世論調査など社会調査に回答しない人が増えている。一方で、優れた政策形成に欠かせない客観的なデータの提供源として同調査への世間の関心は高い。埼玉大学社会調査研究センターは2009年の設立以来、この問題を直視し、調査手法の改善に取り組んできた。

国・自治体の基礎調査を含め社会調査を実施する手法はいくつかある。対象者を訪問し質問に答えてもらう「面接調査」、調査票を郵送し回答の記入を求める「郵送調査」などが知られている。

このうち、面接調査が統計学では調査手法の本流と考えられてきた。だ

が、社会調査を面接方式で実施する場合、個人情報保護の恐れなどで回収率の低迷が深刻な課題になっている。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。

松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。松本は1990年代半ばからセンター長を務める。